



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。e-mailで [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛。  
なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487迄お送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

## 東京学芸大学教育学部地学科助手

1. 助手 1名
2. 東京学芸大学教育学部地学科
3. 天文学
4. 地学実験（天文分野）および地学科の業務
5. 平成15年度の可能な限り早い時期
6. (1) 平成15年9月現在で年齢35才以下の方  
(2) 博士の学位を有する方、または平成15年度内に確実に取得できる見込みがある方  
(3) 天文学の研究・教育に従事でき、かつ教員養成のための教育に関心がある方  
(4) 天文学実験の指導ができる方  
(5) 研究用ワークステーションおよび教育用望遠鏡の管理運営ができる方
7. (1) 自筆履歴書（市販用紙に写真貼付）  
(2) 研究業績目録（査読つき論文、査読なし論文、著書、その他、に区分）  
(3) 主要論文別刷（コピー可）  
(4) これまでの研究経過と今後の研究計画（2000字以内）  
(5) 理科教育・地学教育についての抱負（1500字以内）  
(6) 応募者について意見を伺える方（2名）の氏名と連絡先
8. 平成15年8月18日(月)簡易書留郵便必着

9. (1) 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
東京学芸大学教育学部地学科  
学科主任 猪郷久治 宛  
(2) 教授 水野孝雄  
Tel: 042-329-7534  
Fax: 042-329-7538  
E-mail: [mizuno@u-gakugei.ac.jp](mailto:mizuno@u-gakugei.ac.jp)

10. 封筒に「応募書類在中」と朱書してください。応募書類の返送を希望する場合は、必要額の切手を貼り、宛名を明記した封筒を同封してください。
11. 面接をする場合がありますが、その際の旅費は支給できませんので予めご了承ください。天文学研究室や公募の詳細については、下記をご参照ください。  
URL <http://astro.u-gakugei.ac.jp/>

## 研究助成

### 2003年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。推薦票は天文学会事務所にあります。

1. 候補者の対象：わが国のさまざまな分野で傑出した業績をあげ、文化・社会の発展向上に多大な貢献された個人または団体。
2. 締切：2003年8月29日(金)「朝日賞」係必着
3. 発表：2004年元日の朝日新聞紙上

お問い合わせ及び送付先：

〒104-8011 中央区築地5-3-2

朝日新聞社事業本部メセナ・スポーツ部「朝日賞」係

Tel: 03-5540-7453

Fax: 03-3541-8999

## 研究会・集会案内

## 全国高校生天体観測会

(Astro-HS 2003) の実施について

## 第一報

高校生天体観測ネットワーク運営委員会

<http://www.astro-hs.net/>

## ◆はじめに

私たちは、一昨年 11 月にしし座流星群の大出現と遭遇しました。高校生天体観測ネットワークに参加した高校生たちは、全国各地で同時に空を見上げ、多様な観測を行いました。Leonids98 からスタートして、4 年越しの大きな夢を果たすことが出来ました。昨年は、しし座流星群から離れて、部分日食、太陽表面現象、そしてペルセウス座流星群に取り組みました。高校生天体観測ネットワークでは、単に楽しむだけではなく、天体現象に対してサイエンスもします。プロの観測者とは異なり、多くの観測者が全国に散らばっているため、現象全体の時間進行や空間図などを描くことができます。天体観測の経験の有無、知識は全く関係ありません。宇宙へ挑戦しようとする高校生のみなさんの参加を募集しています。過日の「水星の日面通過」観測会では、残念ながら、万全の準備で臨みながら天候に恵まれなかったグループも少なくありませんでしたが、5 月 17 日現在、20 を越えるグループから観測に成功したという報告が寄せられています。

## ◆本年度の観測会

本年度の取り組みとして、次の 3 つのテーマを取り上げることにしました。

1. 「水星の日面通過」(5 月 7 日)
2. 「ペルセウス座流星群」
3. 「火星大接近」

Astro-HS として、初めて惑星そのものをテーマとする観測会です。公開天文台などのイベントも多数企画されると思いますが、火星に向けられる『すばる望遠鏡』、『探査機のぞみ』を含めた多角的な取り組みを計画中です。インターネット中継などを含めたイベントを計画しています。またイベントの前に、各地区で交流会兼セミナーを開催しますので、奮ってご参加ください。

## ◆参加・登録方法

高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) は、年度毎の登録制をとっています。別記フォーマットに準じて、

必要事項を葉書に記入して頂き、申し込みください。なお、今年度の登録期間については、別記のように複数の期間を設けますので、よろしくお願いいたします。

## ▽観測チーム

参加は高校生を中心としたグループ単位で行います。グループには、必ず大人の責任者をおくこととします。たとえば、グループは高校・高専の天文部・科学部、責任者として部活顧問が考えられます。また、学校のクラブでなくてもプラネタリアムや天文台、科学館などに集まる天文ファンと同好会の高校生のグループも考えられます。最小のグループは高校生 1 人と責任者 (大人) 1 人です。参加後にグループを増員するのは自由です。

## ▽参加資料請求・登録

観測会への参加は、事務局を通じて申し込みをする方法と、高校生天体観測ネットワークホームページ (<http://www.astro-hs.net/>) から行う方法とがあります。

## ▽観測方法・報告

観測は配布されるマニュアルにその方法が掲載されています。マニュアルは、ホームページ (<http://www.astro-hs.net/>) から得ることが可能です。

## ▽観測結果の公開・配布

報告された観測結果は、まずホームページ上で公開されます。そして、年度末に発行される集録に収め、すべての参加グループに配布します。昨年度と同様に、全国規模のフォーラムも企画しています。

## ▽その他

資料送付、登録、および集録などに関わる費用は、高校生天体観測ネットワークがすべて負担しますので、参加費はかかりません。

## 〈登録期間〉

6 月 15 日～9 月 15 日 第一期 2003 年度登録受付期間  
11 月 15 日～12 月 15 日 第二期 2003 年度登録受付期間  
3 月 15 日～4 月 30 日 2004 年度登録内容の変更期間

## 登録葉書の宛先

## ◎東日本地域

田邊康夫 東京大学附属中等教育学校  
Fax: 03-3377-3415  
〒164-8654 東京都中野区南台 1-15-1  
tanabe@astro-hs.net

## ◎西日本地域

寺戸 真 大阪府立岸和田高校



Fax: 0724-32-5266  
〒 596-0073 大阪府岸和田市岸城町 10-1  
terado@astro-hs.net

◆運営委員会・連絡先

▽高校生天体観測ネットワーク Astro-HS

▽代表

[運営委員長] 渡部潤一 (文部科学省・国立天文台)

▽委員

縣 秀彦 (文部科学省・国立天文台)  
有本淳一 (京都市立塔南高等学校)  
小田桐茂良 (青森県立青森南高等学校)  
篠原秀雄 (埼玉県立三郷北高等学校)  
鈴木文二 (埼玉県立三郷工業技術高等学校)  
高橋 淳 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)  
直井雅文 (埼玉県立越谷北高等学校)  
水野孝雄 (東京学芸大学)  
山本雅之 (岩手県立大学・在学)

▽問い合わせ

高校生天体観測ネットワーク公式ホームページ

<http://www.astro-hs.net/>

〒 341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-325

三郷工業技術高校・理科 鈴木文二

Tel: 048-958-2331

Fax: 048-949-1024

E-mail: suzuki@astro-hs.net

◆共催・後援

〈共 催〉

天文教育普及研究会, 日本天文学会, 日本惑星科学会,  
東亜天文学会

〈後 援〉

文部科学省・国立天文台, 文部科学省・宇宙科学研究所,  
天文学振興財団, 日本理科教育学会,  
日本理科教育協会, 日本地学教育学会,  
日本プラネタリウム協会, 日本プラネタリウム研究会,  
全日本プラネタリウム連絡協議会, 日本流星研究会,  
東京近郊地区流星観測者会, 掩蔽観測グループ,  
全国天体観測施設の会, 全国科学博物館協議会,  
日本 HOU 協会, ライブ! ユニバース

◆地区事務局

◎北海道事務局 (北海道全域)

雁沢夏子 遺愛女子中学高校

Fax: 0138-51-7150

〒 040-8543 北海道函館市杉並町 23-11

ganzawa@astro-hs.net

◎東北事務局 (青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)

鎌塚吉忠 青森県立弘前高校

Fax: 0172-32-3227

〒 036-8558 青森県弘前市新寺町 1-1

kamazuka@astro-hs.net

北爪 均 仙台第一高等学校

Fax: 022-257-4503

〒 984-8561 宮城県仙台市若林区元茶畑 4

kitadume@astro-hs.net

◎関東事務局 (栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・  
神奈川・山梨)

田邊康夫 東京大学附属中等教育学校

Fax: 03-3377-3415

〒 164-8654 東京都中野区南台 1-15-1

tanabe@astro-hs.net

◎東海事務局 (静岡・愛知・岐阜・三重)

岡本 貞夫 椋山女学園中・高校

Fax: 052-751-8565

〒 464-0832 愛知県名古屋千種区山添町 2-2

yamada@astro-hs.net

◎中部・北陸事務局 (長野・新潟・富山・石川・福井)

松井 聡 長野県立上田高校

Fax: 0268-23-5390

〒 386-0024 長野県上田市大手 1-4-32

matsui@astro-hs.net

◎近畿事務局 (滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山)

寺戸 真 大阪府立岸和田高校

Fax: 0724-32-5266

〒 596-0073 大阪府岸和田市岸城町 10-1

terado@astro-hs.net

◎中国・四国事務局 (岡山・広島・鳥根・鳥取・  
山口・香川・徳島・愛媛・高知)

畠 浩二 岡山商科大学附属高校

Fax: 086-254-8864

〒 700-0807 岡山県岡山市南方 5-2-45

hata@astro-hs.net

◎九州事務局 (福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・  
熊本・鹿児島)

前田利久 鹿児島県総合教育センター

Fax: 099-294-2309

〒 891-1393 鹿児島県鹿児島郡吉田町宮之浦 862

maeda@astro-hs.net

◎沖縄事務局 (沖縄全域)

永井秀行 沖縄県立普天間高校 地学教室

Fax: 098-893-5888

〒 901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-24-1

nagai@astro-hs.net

## 「近畿地区 高校生のための火星観測講習会」 のお知らせ

高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) 運営委員会

今夏、火星が地球に大接近します。Astro-HS では、全国の高校生と共通テーマで火星を観測しようと計画中です。その事前準備として、下記のとおり近畿地区観測講習会を行うこととしました。これまで天体観測経験のある高校生グループはもちろんのこと、初めてというグループにも是非参加頂き、お互いに情報交換をしながら、世紀を越えた大現象に備えたいと思います。当日は、火星研究の専門家による高校生向けの講演や、すばる望遠鏡の火星観測プロジェクトについてのお話もあります。

期 日：2003年7月20日(日)

11:45～17:30 (受付：11:15～)

会 場：大阪市立科学館

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

Tel: 06-6444-5184

内 容：

- ・プラネタリウム「火星大接近！」上映と解説
- ・講演「火星の素顔に迫る」  
間近に迫った火星大接近に関する専門家による講演
- ・観測講習会
- ・高校生交流会

対 象：高校生グループ及びその指導者

申 込：7月10日までに、

下記連絡先までお願いします。

(プラネタリウムの人数を確定するためです)

詳細情報：フォーラム等の詳細情報は、

<http://www.astro-hs.net> に掲載します。

連絡先：〒596-0073 大阪府岸和田市岸城町10-1

大阪府立岸和田高等学校

寺戸 真

E-mail: [terado@da2.so-net.ne.jp](mailto:terado@da2.so-net.ne.jp)

その他：プラネタリウムをご覧になる場合は観覧料  
(大人600円、高校生450円)が必要です。30名以上で2割引になります。

主 催 高校生天体観測ネットワーク運営委員会

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所  
及び名古屋大学太陽風観測所の特別公開につ  
いて

日 時：2003年8月9日(土)

展示と解説・・・13時～19時半

天体観望会・・・19時半～21時半

開催場所：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村10762-30

Tel: 0264-52-3360

Fax: 0264-52-3361

内 容：東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様にご公開いたします。当日は、普段近くで見ることができない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができるほか、科学実験、特別講演、研究紹介などもおこなわれます。また、夜には、大型シュミット望遠鏡と小望遠鏡を用いて天体観望会を開きます。

1) 木曾観測所及び太陽風観測所の公開と説明

2) 望遠鏡のデモンストレーション

3) 教育・研究活動の紹介

4) 天文工作「分光器を作ろう」

5) 特別講演「最先端の天文学が解き明かす宇宙の  
なぞ」(仮称) 15時半～16時半

6) 天体写真の展示及び販売

7) 天体観望会(雨天中止)

備 考：当施設への交通については、JR 中央西線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約30分です。また、木曾福島駅より無料シャトルバスを下記の時刻で運行しますのでご利用下さい。その他詳しくは、下記木曾観測所のホームページ、または電話等にてお問い合わせ下さい。なお、清涼飲料の販売はいたしますが、食堂はありませんのでご注意下さい。

〈シャトルバス運行時刻表〉

木曾福島駅	観測所	木曾福島駅
12:30 →	13:00 14:00 →	14:30
14:45 →	15:15 16:45 →	17:15
18:30 →	19:00 21:30 →	22:00

問い合わせ先：

・木曾観測所：

〒397-0101 長野県木曾郡三岳村10762-30

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp>

・太陽地球環境研究所：

〒442-0061 愛知県豊川市穂の原3-13

Tel: 0533-89-5175 Fax: 0533-85-3882

<http://stesun5.stelab.nagoya-u.ac.jp>



岡山天体物理観測所の特別公開のご案内

国立天文台・岡山天体物理観測所(OAO)は、来る8月30日(土)に「火星と太陽系の仲間たち」のテーマにて特別公開を行います。地球と火星は約2年2ヶ月ごとに接近を繰り返しますが、今年8月27日には、5万7千年ぶりに大接近し、視直径が最大25.11秒もの大きさに見えるようになります。これは昨年と比べて約7倍の大きさで、土星よりもやや大きく見えるということを表しています。今回の特別公開では、何故このような大接近が起こるのか等のメカニズムを、わかりやすく解説し、合わせて、私たち地球の仲間である惑星についてもパネルを使って詳しく説明いたします。188cm望遠鏡をはじめとする施設紹介も行います。入場は無料です。合わせて、鴨方町・岡山天文博物館でも協賛として多くのイベントを計画しています。

日時：2003年8月30日(土)10:00～17:00

場所：岡山県浅口郡鴨方町本庄 国立天文台・岡山天体物理観測所 鴨方町・岡山天文博物館

テーマ：「火星と太陽系の仲間たち」火星が地球に大接近するメカニズムと他の惑星の様子、望遠鏡・ドーム・観測装置の説明、紹介を致します。

天文博物館では、プラネタリウムで夏番組の投影、太陽観測のほか、子供向けイベントとして、星座ランキング、クイズラリー、星座・天体ビンゴゲーム、工作コーナーでは(火星キーホルダー・その他)を予定しています。

参加方法：自由。ただし、小学校低学年は保護者同伴の事。

入場料：無料

博物館：無料開館

交通：JR鴨方駅から遙照山行きバスを利用、天文台までの所要時間25分(バスの便数が非常に少ないのでご注意ください)自家用車の場合は、国道2号線鴨方ロータリーから北へ約10km天文台まで約20分。または、山陽高速鴨方インターを降りて北へ7km天文台まで約15分。

お問い合わせ：

国立天文台・岡山天体物理観測所  
〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町本庄 3037-5  
Tel: 0865-44-2155 [代表]  
(休祭日を除く月曜～金曜の8:30～17:00の間)  
Fax: 0865-44-2360  
URL <http://www.cc.nao.ac.jp/oao>

日本物理学会 2003 年度科学セミナー  
「宇宙を見る新しい目」

— 聴講者募集のお知らせ —

標記セミナーの聴講者を募集しています。

主催：日本物理学会

期日：2003年8月22日(金)9時30分～17時20分  
23日(土)9時30分～17時10分

会場：東京大学弥生講堂・一条ホール

(地下鉄南北線「東大前」駅下車・徒歩一分)

内容：「宇宙の観測」すなわち「光学望遠鏡」といった時代は、もはや遙か昔の話となり、現在の宇宙の観測は、電波、X線、ガンマ線という電磁波の広い波長域はもちろん、宇宙線、ニュートリノ、さらには重力波という手段を持つに至っています。本学会員でいらっしゃる小柴先生が、ニュートリノ天文学の開拓に対して2002年10月ノーベル賞を受賞されたことは、このように宇宙を見る新しい目が着実に根付いていることを端的に示していると言えます。2003年2月には、宇宙マイクロ波背景放射観測衛星であるWMAP(Wilkinson Microwave Anisotropy Probe)の最初の一年間の観測結果が公表され、世界中で話題になっています。一方で、伝統的な可視光での天文学は、すばる望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡に代表されるような大規模観測装置のおかげで、まさに宇宙の果てまでを直接見渡す時代に入っています。日米独国際プロジェクトであるスローンデジタルスカイサーベイも20万個の銀河の3次元地図をはじめとするその初期データを本年7月に一般公開する予定となっています。このような観測的進展に支えられて、我々の宇宙に関する理解は理論的にも急速に進んでいます。我々の現在の宇宙を特徴づける宇宙論パラメータの値の信頼度は飛躍的に向上しており、いまや「精密宇宙論」という分野が確立しています。また、ニュートリノの観測は素粒子物理学の最も重要な柱として定着していますし、さらには、太陽系外惑星探査を通じて第2の地球を探すという10年前には夢物語であったような学際的な分野までも急速に進歩しつつあります。今回は、これらの進展を背景として、「宇宙をみる新しい目」という観点から宇宙論の現在の到達点を概観すると共に、21世紀の宇宙物理学研究を展望するような講演を企画しました。多くの会員、中高教員、学生の皆様をご聴講されることを期待しています。

## ◇聴講料◇

会員（協賛学協会会員・賛助会員所属の方も含む）：5,000円 / 高校・中学教員：5,000円  
 非会員一般：7,000円 / 学生（大学院生含む）：3,000円

※なお、テキストのみご希望の方には、1冊1,500円（消費税込み）、送料240円で頒布します。

定員：300名。先着順とし、定員に達し次第締め切ります。

申込方法：氏名、連絡先住所（テキスト・聴講券送付先）、電話番号、学生・会員・一般の区別等をA4サイズの用紙にご記入の上、聴講料を添えて（現金書留か郵便為替を書留郵便で）下記までお申し込み下さい。聴講料が添えられていない申込みは無効です。なお、切手で代用することはできません。お申し込みの取り消しは8月5日（火）までとします。

お問い合わせ・お申し込み先：

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館211号室

社団法人 日本物理学会 科学セミナー係

Tel: 03-3434-2671

聴講券ならびにテキストの発送：聴講申込者には事前に聴講券をお送りします。受講の際は必ずご持参下さい。また、8月上旬にテキストをお送りいたします。

協賛学協会等（依頼中を含む）：

応用物理学会、計測自動制御学会、情報処理学会、精密工学会、大学教育学会、低温工学協会、電気化学会、電気学会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、日本応用磁気学会、日本化学会、日本科学史学会、日本機械学会、日本希土類学会、日本金属学会、日本結晶学会、日本結晶成長学会、日本原子力学会、日本高圧力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本数学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会、日本天文学会、日本電子顕微鏡学会、日本複合材料学会、日本物理教育学会、日本分光学会、日本放射光学会、レーザー学会

世話人：梶田隆章（東大宇宙線研）、

須藤 靖（東大理）

科学セミナー担当理事：上羽牧夫（名大理）

## Optics Japan 2003 開催のお知らせ

日本光学会では、年次学術講演会として Optics Japan 2003 を開催します。本講演会は、光学及び光技術に関する研究発表の場であるとともに、日本の光学分野における新しい情報発信の場でもあります。「光」に関する広い分野からの話題について講演を募集していますので、奮ってご応募下さい。

今年の Optics Japan では、これまでの参加者の意見を基に大学施設以外での平日開催により、参加者の便宜をはかり、より密度の高い議論の場を提供することを目指しました。昨年と同様、ポストデッドライン論文の受理、オーサーインタビューを実施する予定です。オリジナル発表の一般講演を中心として、研究グループ（情報フォトンクス、生体医用光学、近接場光学、光学設計、微小光学、OPN 他）が積極的に企画するシンポジウムを多く取り入れ、充実した講演会を開催します。

日時：2003年12月8日（月）9:00～18:00

（講演会終了後に懇親会）

12月9日（火）9:00～17:30

場所：アクティシティ浜松コンgresセンター

（〒430-7790 静岡県浜松市板屋町111-1）

（JR 浜松駅徒歩3分）<http://www.actcity.jp>

主催：日本光学会（応用物理学会）

日本天文学会は協賛団体となっております。

募集内容：光学及び光技術関連分野における新しい研究で未発表のもの

応募資格：日本光学会、応用物理学会及び協賛の学協会の会員

参加費：

（協賛学協会会員の参加費は会員扱いとします）

事前払い：会員5,000円、学生会員1,500円、

一般非会員7,000円、学生非会員2,000円

当日払い：会員6,000円、学生会員2,000円、

一般非会員8,000円、学生非会員2,500円

予稿集代：事前払い：3,000円、当日払い：4,000円

予稿集のみ：6,000円

懇親会費：5,000円、当日払い：6,000円

（但し学生は事前、当日共に2,500円）

講演方法：口頭発表またはポスターで行います。口頭発表はPCプロジェクターのみを用いて行い、発表15分、質疑応答5分の予定です。

講演申込方法：インターネット提出のみ受け付けます。下記ホームページにてお申し込み下さい

講演申し込み期限：2003年8月1日（金）

～2003年9月10日（金）

予稿集原稿：インターネット提出のみ受け付けます。

電子メール：oj@par.odn.ne.jp



予稿集原稿締切：2003年10月3日(金)正午必着  
参加申込：参加申し込みをインターネットでのみ受け  
付けます。

問合わせ先：Optics Japan 2003 事務局

E-mail: oj@par.odn.ne.jp

ホームページ <http://www.adthree.com/oj2003/>

〒164-0003 東京都中野区東中野 4-27-37

(株)アドスリー内 Optics Japan 2003 事務局

Tel: 03-5925-2840 Fax: 03-5925-2913

詳しくは、日本光学会(応用物理学会)機関紙「光学」7月号をご覧ください

## 科研費特定領域研究研究会

### Stellar-Mass, Intermediate-Mass, and Supermassive Black Holes

日時：2003年10月28日(火)～10月31日(金)

場所：京都市国際交流会館

内容：世界から著名なブラックホール(BH)天文学研究者を集め、恒星質量BHから中間質量BH及び巨大BHまで、あらゆる階層のBHに共通する物理の理解を目指す。主な話題は、超高光度X線源(ULX)、狭輝線セイファートI型銀河(NLS1)、磁気降着流構造とジェット生成、相対論的効果の観測可能性、次世代観測装置計画など。

参加費：10,000円(一般)、5,000円(学生)

申込締切：2003年8月31日

申込先：bh2003@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

問合せ先：京都大学基礎物理学研究所 嶺重 慎

Tel: 075-753-7017

E-mail: minesige@yukawa.kyoto-u.ac.jp

<http://www.astro.isas.ac.jp/conference/bh2003/>

## 「太陽宇宙デジタルライブ」

### 京都大学花山・飛騨天文台

### 連携同時一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台と飛騨天文台では、来たる10月11日に同時に連携して一般公開を行います。施設の公開・展示陳列と天体観望会を行い、また、ネットワークを経由して両天文台で観測された天体画像を相互にリアルタイムで上映します。花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお越し下さい。

<一般公開>

日時：2003年10月11日(土) 13時～20時30分

場所(1)：京都市山科区北花山大峰町

京都大学大学院理学研究科附属花山天文台

(2)：岐阜県吉城郡上宝村蔵柱

京都大学大学院理学研究科附属飛騨天文台

公開施設と内容：花山・飛騨天文台の主要な観測施設、研究施設などの公開および展示陳列。望遠鏡による天体観望、分光器製作や太陽黒点スケッチなどの各種体験コーナー。

天体観望会：

(1)花山天文台

13時～16時

ザートリウス18cm屈折望遠鏡および70cmシーロスタット分光望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。太陽黒点スケッチの実習。飛騨天文台で観測された太陽像のネットワークによるリアルタイム上映。

18時～20時30分

45cm屈折望遠鏡による天体観望(火星と月)。

(2)飛騨天文台

13時～16時

ドームレス太陽望遠鏡、フレアモニター望遠鏡、および、新設の太陽磁気活動望遠鏡による太陽像と分光スペクトル観望。花山天文台で観測された太陽像のリアルタイム上映。

18時～20時30分

65cm屈折望遠鏡及び60cm反射望遠鏡による天体観望(火星と月など)

<交通機関>

(1)花山天文台・京都市営地下鉄東西線蹴上駅より徒歩30分、または、京阪三条駅よりタクシー約10分(約1300円)。蹴上駅-花山天文台間はシャトルバス(無料)を運行します。

(2)飛騨天文台・公共交通機関がないので自家用車でお越し下さい。(高山市から車で約1時間)

<申し込み方法>

(1)花山天文台見学は、事前申し込みは不要です。

Tel: 075-581-1235

Fax: 075-593-9617

(2)飛騨天文台見学希望の方は、10月4日までに、往復ハガキに住所、氏名、電話連絡先、を書いて申し込んで下さい。(団体の場合は代表者の住所、氏名、電話連絡先のほかに、見学者の総数と各人の氏名も洩れなく記入して下さい。)先着100名まで受け付けます。ハガキの宛先は、

〒506-1314 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱京大飛騨天文台

Tel: 0578-6-2311 Fax: 0578-6-2118

<花山・飛騨天文台のホームページ>

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

独立行政法人通信総合研究所 平磯太陽観測  
センター一般公開

平磯太陽観測センターでは、将来、宇宙天気予報を実現すべく、太陽フレア（太陽面爆発）等の様々な太陽活動現象の発生機構の解明及びその監視・予知技術の確立をめざした研究及び開発を行なっています。当日は、太陽の光学／電波観測装置や太陽地球環境情報サービスなどを公開する予定です。

日時：8月2日(土) 10時～16時  
場所：〒311-1202 茨城県ひたちなか市磯崎3601  
平磯太陽観測センター（駐車場有り）  
交通：北関東自動車道ひたちなかICより車で5分  
常磐自動車道那珂ICより車で30分  
JR常磐線勝田駅よりタクシーで20分  
茨城交通湊線磯崎駅より徒歩20分

お問い合わせ

Tel: 029-265-7121(代表)

E-mail: [rwc@crl.go.jp](mailto:rwc@crl.go.jp)

<http://sunbase.crl.go.jp>

第53回科学講演会

主催：財団法人 東レ科学振興会  
後援：日本天文学会、他  
とき：2002年9月19日(金)  
開場 17時30分～終演 20時45分  
ところ：有楽町朝日ホール  
テーマ：遺伝子治療と再生医療  
その他：入場無料・予約なし（定員630名）  
問い合わせ先：

財団法人東レ科学振興会  
千葉県浦安市美浜一丁目8番1号  
Tel: 047-350-6103 Fax: 047-350-6082  
E-mail: [JDP00120@nifty.ne.jp](mailto:JDP00120@nifty.ne.jp)  
<http://www.toray.co.jp/aboutus/tsf/kagaku.html>

会務案内

評議員選挙結果報告

任期2004年1月1日～2007年12月31日の評議員選挙を、定款及び評議員選挙施行細則に従って、2003年5月23日～6月20日を投票期間として行いました。2003年6月23日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告致します。

尚、再任者谷口氏と長谷川氏は同票のため、抽選により決めました。

送付投票数：1,452（有権者数）  
回答数：174  
有効投票：1,062  
白票：142

第15期評議員候補者（\*現評議員）

（任期：2004.1.1.～2007.12.31.）

	氏名	得票
当選	池内 了*	47
当選	安東 正隆	44
当選	山本 哲也	43
当選	佐藤 勝彦*	34
当選	家 正則*	29
当選	小杉 健郎*	24
当選	谷口 義明*	22
	長谷川 哲夫*	22
当選	観山 正見	19
	渡部 潤一*	16
	石黒 正人*	15
当選	梅村 雅之	14
	中村 卓史*	14
	佐藤 修二*	13
当選	大橋 隆哉	12
	松田 卓也*	12
	井上 允	11
	中川 貴雄	11
	吉田 道利	11

2003年6月23日

選挙管理委員会  
委員長 関本裕太郎



## 早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金への次回の申請締切りは2003年9月10日です。渡航期間は10月1日から12月31日間です。詳細は、天文学会のホームページ <http://www.asj.or.jp/> の「早川幸男基金」の部分をご覧ください。若手天文学研究者の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

早川幸男基金選考委員会

ムがあること。(インターネットに常時接続していれば尚可)

・最近では PAONET 参加ユーザーの互助により、Machintosh や Linux でも利用する環境が整っています(基本は Windows です)。

・インターネットプロバイダーまたは直接接続のインターネットを介して、FTP(等)にて画像等を取得します。

※ PAONET は公開施設および教育機関を対象としたサービスですので営利団体・個人の参加はできません。

加入団体の義務は：

・年度末に報告書を提出すること。

・運用規則を遵守すること。

・担当者は毎年1回開催される「PAONET 全体ユーザーズミーティング」に出席すること。新規ユーザーには翌日に「新規ユーザー向けのミーティング」も行います。

※義務を果たされない団体には自動的に退会して頂くこととなります。

## その他

### 2003 年度公開天文台ネットワーク (PAONET) 加入受けのお知らせ

国立天文台天文情報公開センター  
広報普及室 PAONET 事務局

「公開天文台ネットワーク」(略称、PAONET：パオネット)は、国立天文台が広報普及活動の一環として、各地の公共天文台・プラネタリウム・科学館・教育センター・学校などに対し、電話回線を通じて天文の最新画像や情報などを提供するシステムです。また、PAONET ユーザー同士の情報交換の場としても活用されています。PAONET は 1995 年 11 月の運用開始以来、現在約 130 の加入団体が参加されております。

加入資格は：

- ・天文の普及・教育を目的とした非営利団体であること。
- ・施設の長の加入承認が必要なこと。
- ・担当者(施設職員)にコンピュータの知識があること。
- ・担当者(施設職員として、または施設として)が電子メールアドレスを持っている(電子メールで必ず連絡がとれる)こと。
- ・Windows が動作するパソコン、電話回線、モデ

募集の期間は、8月1日(金)から9月1日(月)の予定で、加入申請を受付けます(9月1日必着)。加入が承認された団体には、9月30日(火)・10月1日(水)に東京都三鷹市にある国立天文台にて行なわれる予定の、「PAONET 全体および新規ユーザー会」に参加して頂きます。ここで各種の説明と資料およびプログラム等の配布を受けます。

資料や参加申込書などの請求、質問は下記宛に郵便、Fax、電子メールにてお願いします(電話でのお問合せは担当者不在が多い為、できるだけお避けください)。

国立天文台天文情報公開センター

広報普及室内 PAONET 事務局

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

Tel: 0422-34-3688

(平日、9:00 ~ 18:00 ・一般質問電話兼用)

Fax: 0422-34-3810

E-mail: paomgr@nao.ac.jp

編集委員 土橋一仁(編集長)、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、亀野誠二、濤崎智佳、藤田 裕、洞川俊博、増田 智  
平成 15 年 7 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
定価 700 円(本体 667 円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子